

### 私の趣味

## 実益を兼ねた「山菜採り」にはまっています！

大学卒業後、早40余年を過ぎようとしています。このごろはまっているのが春の山菜採り、秋のきのこ採り。元々、愛知の山奥で幼年時代を過ごしたこともあり、山を飛び回ることが好きでした。登山とか、いまはやりのトレッキングには興味がなく、もっぱら実益をともなった趣味といえます。

最近もたらの芽、こごみ、わらび、わさび、ぜんまい、こしあぶら、やまうど、たけのこを採りに山梨清里高原、長野男山にいったきました。なにが楽しいかって、藪をかきわけながら、獲物をみつけたときの興奮はなににも変えられません。森林浴をしながらか歩き回るのがいいという人もいますが、私は違います。まず実益。たらの芽、こごみ等を袋一杯に採りまく

ることです（ただし、採りまくるといっても、野生のものは根だやしに採りすぎると翌年から芽を出しません。小さなものは残す、根こそぎとらないことが鉄則です）。

朝早くから夕方近くまで獲物を求めて歩き回ります。目が充血してきて片目がいづも結膜炎になるぐらいです。のどもやられますが、ぼつとたらの芽が枝先に

見えたり、小川の近くでこごみを発見したときの嬉しさはこたえられません。林の中には野ばらが密生し、そのとげにも悩まされますが、いばらの道を踏み越えてこそ幸せがやってくるのです。

近年は山も規制が厳しくなり、勝手に山菜採りをする警察に密告されることもあるそうです。また、山奥まで行きますので、熊よけの笛



は手放せません。でも、そのようなりスクを背負っても山菜採り、きのこ採りは楽しく、心が爽快になります。採ってきた獲物を早速、料理して（山菜はてんぷら、おし、キンピラ、きのこは鍋、みそ汁、酢の物）食べると、野生が入ってくるというか、体が若返るような気がします。

も「原猛杯」と冠大会に変わり、原会員の名前は永久に受け継がれる事になった。県協会副会長として小林会員がそれを取り仕切ってきた。「大先輩のお名前を若い選手たちに毎年伝えていきます。これで忘れ去られる事はな

いでしよう」。

昭和46年、5年ぶりの一部復帰を置き土産に卒業、故佐藤武前監督の最後の部員だ。卒業後は故郷新潟に帰り、銀行マンに。一貫して越後金融界に生き、それは現在も続いている。

「部が活性化し、好成績を挙げている事は会報などで知っています。私の現役時代に比べると別世界のようすが、でもうれいですね。新潟高校からもボチボチ選手が行くようになったし、

心はいつも早稲田に向いています」。

原カップを若い選手に渡すたびに、「都の西北」の歌詞が心に浮かぶという。早稲田マンの熱い血は脈々と新潟の地で生き続けている。東京の「滝口杯」と並んで稲光会の二大名物となりそうだ。「今年の秋には稲光会に出席するつもりです。同期の北嶋を激励するほか、久しぶりに諸先輩の警咳に接したいと思っています」という小林会員、次回の稲光会を楽しみに待とう。



長男の結婚式。前列右が小林会員（日比谷公園にて）

### OBの近況報告

#### 昭和46年卒 小林秀直

わが部創設の功勞者、原猛会員（新潟県協会終身名誉会長）が、平成17年に逝去。遺族の協力がありその年の12月から、従来からの新潟県選手権大会に原猛杯を設けた。大会名

## 小野梓賞連続受賞

フエンシング部は、大学で最も権威のある小野梓賞を2年連続で受賞した。第59回全日本学生選手権大会男子フルールの団体優勝に對してのもの。前年は同大会男子エペ団体2連覇で受賞している。



練習場に飾られた賞状（上）受賞に尽力された矢口部長（下）

て授けられ、これを受賞することは体育局の部として最高の名誉とされた。

その後ハードルを国内大会にまで下げたが、わが部としては一昨年初受賞となった。昨年はオリンピックにつながる同種目での初優勝という点が評価される2年連続の栄誉である。

特に昨年の受賞は、申請に際して矢口徹也部長が選考委員会に対して「フルール種目は北京オリンピックで初のメダルを獲得しており、世界レベルに直結しているレベルの高い種目」という点を強くアピール。それが受け入れられて受賞につながったという経緯があり、部長には改めて感謝いたします。

なお五月の体育表彰でわが部は団体名誉賞、稲門体育会賞および寺本朋代が個人

## 平成22年度稲光会総会開催

平成22年度稲光会総会が4月2日（金）フエンシング道場にて開催。矢口先生をはじめ、会員22名、現役部員24名計47名が出席。今回は多くの先輩に来て頂く為に会場を大隈会館から道場に変更

人体育名誉賞（インカレ2連覇）を受賞した。

え、会費を5000円から3000円に。例年よりも多い22名の会員が顔をそろえた。

総会において21年度の活動、決算報告、今年度予算案、活動計画、人事案等を審議、承認した。なお65周年記念事業は現在の不況を考慮し、実施しないこととした。また今年度は2年毎の役員改選の年で、新任13名を含め、31名が改選された。稲光会活動の活性化を図るため、平成年度卒の若手会員8名が新たに加わり、今後大いに期待が持てる陣容となった。



## サーブル、また2部落ち

2010年度リーグ線の入れ替え戦（5月）で、男子サーブルが宿敵・明治に敗れ、残念ながらわずか1年で再び2部落ちした（詳細は2面に

# 稲光会報

第33巻 44号

平成22年7月1日発行  
編集者 早稲田大学稲光会  
発行者 植竹清宏  
題字 滝口

# 男子フルーレ準優勝も、男子サーブルは痛恨の降格

2010年度関東学生リーグ戦は4月20日開幕（駒沢屋内球技場）。男子フルーレは2位と健闘、王座決定戦（6月6日、中大）に駒を進めたが、日大に敗れ再び2位に終わった。男子サーブルは入替戦で3年連続明大との対戦となり、前半はリードしたものの逆転され、わずか1年のみで再び2部に逆戻りしてしまっただ。



戦となったが終盤の追い上げ及ばず2位に終わった。男子サーブル陣はこれから出直しの2部降格。女子は、陣容は整ったものの、3種目とも力が発揮できず、残念ながら当初の予想を大幅に下回る成績に終わった。来年のリベンジに期待したい。



男子フルーレは常勝法大が敗れ、久々に日大の優勝となった。わが部は日大、法大に敗れたもののリーグ戦2位。王座決定戦で再度日大との決

## 【63回関東学生フェンシングリーグ大会】

（4月21日～24日・26日 駒沢屋内競技場）

### 男子結果

▽男子フルーレ 準優勝

順位①日②早③法④専⑤中⑥拓

○早大45-中大32

○早大45-専大31

○早大45-拓大17

○早大44-日大35

●早大44-法大45

▽男子エペ 4位

順位①法②中③日体④早⑤専⑥日

●早大36-日体大45

○早大35-日大34

○早大45-中大42

●早大33-法大45

○早大40-専大39

▽男子サーブル 6位

順位①法②中③日体④日⑤専⑥早

●早大30-専大45

●早大23-中大45

●早大35-日体大45

○早大18-法大45

●早大26-日大45

### 女子結果

▽女子フルーレ 3位

順位①日女②日③早④日体⑤法⑥専

## 王座決定戦

（6月6日・八王子中央体育館）

▽男子フルーレ 準優勝

準決勝 ○早大45-25朝日大

決勝 ○日大44-43早大

## その他の試合結果

【第6回剛毅杯】

（4月17日～18日・厚生年金体育館）

▽男子フルーレ

3位 鬼澤大真（社学・1年）

▽女子フルーレ

5位 佐々木優（スポ科・2年）

▽女子エペ

5位 太田紗佑里（政経・2年）

▽女子サーブル

6位 佐々木優（スポ科・2年）

【世界アジアジュニア・カデ選手権大会】

（3月10日～14日・マニラ市）

▽女子フルーレ

3位 佐々木優（スポ科・2年）

▽女子エペ

6位 太田紗佑里（政経・2年）

## 【第61回早立命戦】

▽男子総合 優勝

○早大2-1立命大

▽女子総合 優勝

○早大2-1立命大

## ワセダクラブ試合結果

※09年度末（3月末日）までの試合結果。4月以降は次号に掲載。

### 【第10回関東少年大会】

（2月7日・高崎中央体育館）

▽中学生男子フルーレ

4位 山根周祐

▽中学生女子フルーレ

6位 浅野早紀

7位 今井良美

## 【第26回ふなばしクリスマスカップ】

（2月・船橋市運動公園体育館）

▽中学生女子フルーレ

2位 浅野早紀

【第13回みちのく少年フェンシング大会】

（3月27～28日・気仙沼市総合体育館）

▽中学生女子フルーレ

3位 浅野早紀

## 新人紹介

- ①氏名②生年月日③出身高校④学部⑤主な競技歴⑥抱負



①鬼澤大真（おにざわだいま）②常磐大学高等学校③社会科学部④全国高校総体男子フルーレ優勝⑤大学で強い先輩方と毎日練習に励み、自分を磨き更に飛躍したい。



①真所美莉（まどころみり）②仙台南高等学校③スポーツ科学部④全国高校総体女子サーブル準優勝⑤ジュニアの代表になれるよう、日々努力して参ります！



①北川隆之介（きたがわりゅうのすけ）②埼玉栄高等学校③スポーツ科学部④全国高校総体フルーレ男子サーブル準優勝、団体3位⑤早稲田の一員として関カレ、インカレ優勝に貢献したい。



①杉谷佳紀（すぎたによしき）②三重県私立高田高等学校③先進理工学部④三重県国体3位⑤新人戦に向けて練習し、優勝をめざしたい。



吉澤千恵子（平成19年卒）が、世界8位と健闘！ワールドカップ・ハバナ大会（6月7日～8日・キューバ）に、日本代表の一員として参加した吉澤会員は女子フルーレ個人戦に出場。ベスト8入りを賭けた一戦で世界ランク上位の常連ゴルビスキー（独）を破り、準決勝進出を狙う試合では北京オリンピック金メダリスト、ベッツァーク（伊）と対戦。11対11と互いに譲らぬ熱戦を展開。結局11対12でタイムアップとなり敗れ8位に終わったが、あわやベスト4入りかという大健闘に場内の大歓声を浴びた。吉澤会員は卒業後郷里の群馬県に帰り、高校教員を務めながら、選手活動を続けている。

## 夏期合宿のご案内

今年の夏期合宿は昨年同様、佐々木剛・千恵子夫妻が心を込めて部員たちの世話をしてくれる群馬県上野村の「やまびこ荘」です。癒しの里と呼ばれる静かな山間の地へ、ご指導、激励かたがた遊びに来てください。

合宿期間 9月10日（金）～17日（金）

場所 国民宿舎やまびこ荘

住所 群馬県多野郡上野村大字川和665

電話 0274-59-2584

※佐々木氏携帯 090-2748-6928

FAX 0274-59-2632

### 日程

▽出発 9月10日（金）午前着

▽前半練習 9月10日（金）午後～12日（日）

▽中目 9月13日（月）

▽後半練習 9月14日（火）～16日（木）

▽帰京 9月17日（金）

※担当部員 廣瀬千夏 090-6885-4703